

被害防止計画目標評価報告書

湖北地域鳥獣被害防止対策協議会

1. 対象地域及び実施期間

対象地域	長浜市、米原市
実施期間	令和2年度～令和4年度

2. 被害防止計画目標の達成状況

対象鳥獣	被害金額(千円、%)				被害面積(ha、%)			
	基準年の実績値(A)	目標値(B)	目標年の実績値(C)	達成率(A-C)/(A-B)	基準年の実績値(A)	目標値(B)	目標年の実績値(C)	達成率(A-C)/(A-B)
イノシシ	9,363	6,553	2,293	252%	9.34	6.53	2.41	247%
ニホンザル	5,837	4,085	6,872	-59%	2.9	2.03	5.09	-252%
ニホンジカ	2,864	2,004	728	248%	2.87	2	0.83	234%
ハクビシン アライグマ ヌートリア	628	438	303	171%	0.25	0.17	0.07	225%
カラス	5,253	3,676	1,078	265%	4.95	3.46	0.28	313%
アオサギ	6,829	4,780	68	330%	6.48	4.53	0.05	330%
カワウ	43,106	30,174	62,561	-150%				#DIV/0!
								#DIV/0!
合計	73880	51710	73903	0%	26.79	18.72	8.73	224%

3. 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果
R2	ニホンジカ イノシシ ニホンザル ハクビシン アライグマ ヌートリア カラス カワウ アオサギ	小型獣用箱 わなの導入	8基	協議会	R2.8	100%	大型サルオリでは次年度に装着稼働する動物位置情報システム用GPS首輪装着にかかる捕獲として5頭を捕獲した。 実施隊OJTでは、新規実施隊員に対し、長年にわたり実施隊員として従事している者が、総時間345時間をかけ指導を行い、わな猟のノウハウを指導し、新規実施隊員のスキルアップにつながった 狩猟免許予備講習会受講者への助成については、捕獲体制の強化を図るため、R2、22名、R3、17名、R4、16名、計55名に狩猟免許取得にかかる受講費に対し助成を行い、担い手確保を推進した。
		実施隊OJTの実施	1組				
		サルオリ導入	4基		R2.8	100%	
狩猟免許予備講習補助							
大型サルオリ導入		1基	R3.8		100%		
ICT捕獲機材導入		1基	R3.8		100%		
狩猟免許予備講習補助			R3.8		100%		
R3		動物位置情報システム	一式		R4.8	100%	
		狩猟免許予備講習補助					
R4							

4. 総合評価

今後も、湖北地域鳥獣被害防止対策協議会が中心となって構成団体等との連携を図り、野生獣追い払い対策の強化や、より効果的な侵入防止柵の設置を進め、野生獣を寄せ付けない集落ぐるみの取り組みを推進する。

5. 第三者の意見

ニホンザルやカワウでは目標より被害金額、面積とも大きかったが、ほとんどの獣種では大幅に目標達成できており、捕獲や狩猟免許への助成など各事業の成果が出ているものと考えられる。引き続き、サル檻の運用による適切な個体数管理とともに、ニホンザルに効果の高い電気柵の設置を進めるなど効果的な侵入防止対策の実践により、野生獣による被害防止を進める必要がある。 湖北農業農村振興事務所農産普及課 副主幹 芦田

- (注) 1 被害防止計画目標の達成状況が低調である場合は、実施要綱別記1の第6の2の(1)に基づき改善計画を作成し、知事に提出すること。
- 2 3の事業効果には、事業の実施により発現した効果を幅広く記入すること。なお、処理加工施設又は捕獲技術向上施設を整備した場合は、当該施設の利用率も記入すること。
- 3 4の総合評価のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由も記入すること。
- 4 鳥獣被害防止施設の整備を行った場合には、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況ならびに侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類、設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況等を様式に具体的に記載し、添付すること。
(別記様式第1号-8)